



photo01

今回のテーマは2階の水廻りです。2・3階は吹き抜けを介した1室空間ですという話を前回させて頂きましたが、2階には1枚だけ扉があります。それは浴室・洗面・トイレの扉です。

水廻りはその部屋の性質上、どうしても狭くなっていますが、我が家では出来る限り、明るく、開放的に見えるように浴室・洗面・トイレ内は扉がありません。浴室・洗面空間の間仕切りも広く見えるように透明の強化ガラスで造りました。(photo01)

浴室はハーフサイズのユニットバスを採用。これは浴槽より上の部分は自由に設計できるので窓や鏡、水栓や棚など好きなメーカーのものを選べます。2階に浴室を設置する場合などに良く使うユニットバスです。当初は強化ガラスの扉を付ける予定でしたが、コストの関係から断念し、その代わりにシャワーカーテン(SANNI)を付けました。いずれはガラスの扉を取り付けようとは思っていますが、カーテンロッド(RAAN)は突っ張り棒形式で穴を開けるといったことがないので、はずしても問題ありません。(photo02)



photo02

洗面カウンターは人工大理石で、シンクとは継ぎ目のない構造なのでシンク廻りなどにカビが生えないのが特徴です。下には収納付ツール(BURSJON)。中には洗剤等を入れてあります。3歳の娘は小さな台ではまだ届かないので、手を洗うときにこれを使います。

横にはドラム式の洗濯機。白いポリ合板の箱の中に納めています。上ぶたは取り外しができるようになっているので、蛇口の接続や機器の入れ替えは容易に行えるようになっています。(photo03)

上部にはミラーキャビネット(VATTERN)があります。巾80cm、高さ67cmのキャビネットを2個並べました。並べることで、写真のように3面鏡のような使い方もできます。シンクは1つですが、ミラー部分が大きいので二人で使っても狭くありません。(photo04)



photo03

便器はタンクレスのタイプで、脱臭機能付なので我が家のように洗面室と一体になったトイレの場合でも臭いは気になりません。便器の反対側にはタオルなどを収納するハイキャビネット(VATTERN)。この収納の裏側はキッチンのバックセットになっていて、棚と冷蔵庫を置いて余った部分に洗面室側から使えるように埋め込みました。(photo05,06)



photo04

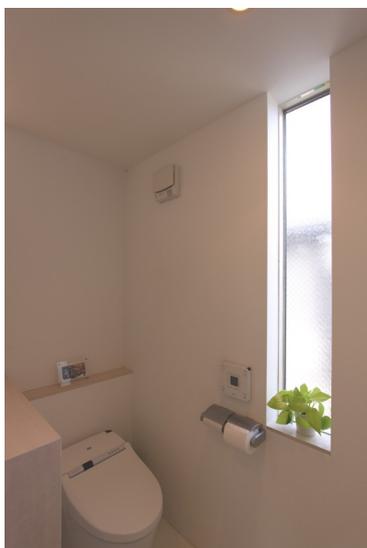


photo05



photo06